

180万円
から買える



トリビュート

TRIBUTE

フ

オードとの共同開発車「トリビュート」の国内発売時期が前倒しされることになった。当初は01年春のリリースが予定されていたが、マツダ社内でのカー・オブ・ザ・イヤーにエントリーさせるクルマがないことが懸念され、急ぎよ00年10月COTYに間に合うよう、10月末をメドに発売されることになったのだ。デビューを約1カ月に控え、いち早くキャッチした国内モデルのスペックを完全披露する。

まず、搭載エンジンは2リットル直4(129ps/18.7kg・m)と3リットルV6(203ps/27.0kg・m)の2タイプで、ともに新開発ユニットだ。駆動方式も4WDだけにどまらず、2リットル車には低価格のFF仕様もラインナップされる。なお、トランスミッションは全タイプともコラム式4速EC-ATのみ。

バリエーション展開は量販グレードの「LX」と上級モデルの「GLX」から構成され、先述のFF仕様は「LX」に設定される。さらに「LX」には

- 16インチアルミホイール
 - 電動格納式カラードアミラー
 - プライバシーガラス
 - キースエントリーシステム
 - サイドエアバッグ
- をセットにした「Gパッケージ」も用意されるので、お買い得価格で充実装備を求めるユーザーも満足できるはずだ。

しかし、それ以前に基本装備の水準が高いのもトリビュートのミソで、ガラスハッチやオートエアコン、電動アンテナは全モデルに標準装備とくに注目したいのは使い勝手

のよさそうなりアシートだ。6:4分割のリクライニング機構付きだが、クッションが起こせるダブルフォールディング式でもある。クッションには脱着機構もついており、RV同様、取り外すことでフラットなラゲッジスペースが作り出せる。

ちなみに、「LX」と「GLX」の大きな違いはクラディングパネルとオーバーフェンダーの有無だ。これらが装着されることで外観がツートン風に見えるだけでなく、全幅も35mm増の1825mmに広がる。当然、タイヤサイズも215/70R16から235/70R16に格上げ。同時に装備面では本革巻きステアリングホイールやフォグランプ、7スピーカーが加わる。

ダイナミック・フォルムを美しく彩る全6色のボディカラーも見逃せない。カリビアンブルー、サンライストシルバー、プリリアントブラックにはグレーの内装が組み合わされ、対するシルキーパール、パッションレッド、ピュアホワイトの3色は内装がベージュとなる。

購入検討を始めた読者のために、大まかな予想価格も提示しておこう。もっとも安い2リットルFF車は180万円前後に設定され、RAV4やCR-V、パジェロイオに負けない競争力を誇る。同じ2リットルエンジンを搭載する4WD「LX Gパッケージ」はメーカーオプションのナビゲーションシステムを装着しても240万円程度に落ち着く見込みだ。そして、最高額の3リットルV6「GLX」ナビ装着車は約280万円におよび、サーフやテラノ、ハリアー検討者をも射程距離に置いている。この幅広い価格設定が、多くのユーザーにトリビュート購入のチャンスを与えてくれることだろう。

「トリビュート・リンク」ってナニ?

国内発売に先がけ、トリビュートのターゲットユーザーを狙ったエンターテインメント活動が始まった。マツダとアパレルのワールド、そしてソニー・ミュージックエンターテインメントによるコラボレーションで、ウェブサイトを通していろんな情報が発信される予定だ。すでにワールドはタケオキチのプロデュースによるファッション商品(服やグッズ)を発売しており、

今後もキーワード「Beat Your Soul」に則した活動が幅広く繰り広げられる。コイツはさっそく<http://www.tributelink.com>にアクセスして、チェックしなきゃね。



SCOOP14

上級グレードに搭載されるAJ型3 V6エンジンは203ps / 27.0kg-mを発揮する。MPV搭載の2.5 V6ユニットとストロークが共通で、ボアアップによって排気量が500cc拡大された。



■トリビュートのグレード別コンセプト(編集部予想)

駆動方式	エンジン	トランスミッション	グレード	コンセプト	ターゲットユーザーイメージ
FF	直4 2ℓ DOHC	コラム式 4速EC-AT	LX	トリビュートのエントリーモデル。SUVの良さと乗用車の使いやすさを兼ね備えながら、極めて買いやすい価格のモデル。	主にB(デミオ)、C(ファミリア)クラスからの代替で、SUVの運転パッケージを重視し、街乗り中心に使用するユーザー。若いファミリー層、および女性。
			Gパッケージ	外観&装備の充実により、RAV4、パジェロイオのFF車検討層を獲得。	
4WD	V6 3ℓ DOHC	4速EC-AT	LX	2ℓと4WDによる、オン&オフロードでのバランスのとれた軽快な走りを実現。4WDエントリー層に対して訴求可能なモデル。	街乗りレジャーに積極的にSUVを活用することをイメージし、セダンからSUVに新規代替する層。独身層、ファミリー層、女性とターゲットは幅広い。スペックと価格のバランスも重視。
			Gパッケージ	量販機種。外観&装備充実によりCR-V、RAV4中心グレード検討層を獲得。	
			LX	V6・4WDによるパワフルな走り、オン&オフ性能を持ったV6・4WDエントリーモデル。	ファミリー層の中でも走りのパフォーマンスも重視する層。街乗り中心に使用する独身層。
			Gパッケージ	充実装備・走り・価格が訴求可能なモデル。CR-V、RAV4上級グレード検討層を獲得。	
			GL-X	トリビュートの最上級モデル。235タイヤ、クラディングパネルによるタフなイメージと上級装備を備え、オン&オフロードでの万能の走りを実現。ハリアー、サーフなどスモールクラス検討層を獲得。	主に現在SUVおよび他RVを所有する層。独身男性、およびミドル/オールドファミリー層で、積極的にレジャーを楽しもうとする。また、性能や品質への要求水準も高い。



ガラスハッチは全グレードに標準装備されるアイテムだ。狭い場所でも荷物の出し入れを行うことができ、軽い力で開け閉めできるのが利点。

■トリビュートの主要スペック(編集部予想)

車名・型式	ボディタイプ		ステーションワゴン				
	車名・形式		マツダTA-EPEW				
	駆動方式		FF	4WD	4WD		
	グレード		LX		GL-X		
	変速機形式・変速段数		4速オートマチック				
寸法・車重・定員	全長	mm	4395				
	全幅	mm	1790			1825	
	全高	mm	1750 (ルーフレール含む)			1760 (ルーフレール含む)	
	室内長	mm	1810				
	室内幅	mm	1455				
	室内高	mm	1230			1230 (サンルーフ無) 1195 (サンルーフ有)	
	ホイールベース	mm	2620				
	トレッド・前/後	mm	1540/1520			1550/1530	
	最低地上高	mm	195			205	
	車両重量	kg	1400~1410	1470	1510~1530		
	車両総重量	kg	1675~1685	1745	1785~1805		
	乗車定員	名	5				
	性能・燃費	最小回転半径		5.4			5.6
		10・15モード燃費	km/ℓ	9.8	9.2	8.4	8.0
ステアリング	ステアリング形式		コラプシブル調整式				
	倍力装置形式		インテグラル式				
サスペンション	懸架方式・前/後		マクファーソン式/マルチリンク式				
	ショックアブソーバー・前後		筒型複動式				
ブレーキ	スタビライザー (前のみ)		トーションバー式				
	主ブレーキ形式・前		ベンチレーテッドディスク				
	主ブレーキ形式・後		リーディングトレーディング				
	ブレーキ倍力装置		真空倍力式				
タイヤ&ホイール	タイヤ・前後		215/70R16			235/70R16	
	ホイール・前後		16×6-1/2JJ			16×7JJ	
エンジン	型式		YF		AJ		
	種類		水冷直列4気筒DOHC16バルブ		水冷V型6気筒DOHC24バルブ		
	内径×行程	mm	84.8×88.0		89.0×79.5		
	総排気量	cc	1998		2967		
	圧縮比		9.5		10.0		
	最高出力	kW/rpm(ps/rpm)	95/5400(129/5400)		149/6000(203/6000)		
	最大トルク	N・m/rpm(kg-m/rpm)	183/4500(18.7/4500)		265/4700(27.0/4700)		
	燃料供給装置		EGI (電子制御燃料噴射装置)				
	燃料および燃料タンク容量		無鉛レギュラー・61ℓ				
	変速機	トランスミッション		4速オートマチック(EG-AT)			
クラッチ型式			3要素1段2相形 (ロックアップ機構付)				
変速比		1速	2.889				
		2速	1.571				
		3速	1.000				
		4速	0.898				
		後退	2.310				
最終減速比			4.230		3.776		

国内デビューは
10月30日か!?

ト購入のチャンスを与えてくれる」
とだろ。